



株式会社クレオ

第**50**期  
**Business Report**

2022年4月1日～2023年3月31日

みなさまと共創していく、新しい未来

**We want to create the future with you.**

株式会社クレオ

証券コード：9698



代表取締役社長  
柿崎 淳一

## 市場ニーズの変化をしっかりとキャッチアップし、 次の成長ステージに向けた足場固めを加速させます

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第50期(2022年4月1日より2023年3月31日まで)の活動を終え、Business Reportをお届けするにあたりまして、ごあいさつ申し上げます。

当社グループは、企業の経営資源・人的資本を管理する分野における投資需要に対し、クラウド技術への対応拡大などで旺盛なニーズに応え、次なる成長を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### Q 2023年3月期の事業環境と業績について お聞かせください。

**A** 事業環境については、新型コロナウイルス感染症、エネルギー・物流価格高騰、世界的インフレ傾向、ウクライナ・ロシア情勢等、依然として不透明感が強い状況ですが、社会における働き方の変化の中で、企業のIT投資需要は堅調な状態が継続しています。2023年3月期における動向としては、企業システムのクラウド化やサブスクリプションモデルの浸透、リモートワークの定着などが顕著となっています。

そうした中で、当社グループが成長事業と位置づけるソリューションサービス事業において、戦略的受注プロジェクトで高原価状態が発生し、プロジェクト収束へ向けた開発コストの増加、要員に対する機会損失などが生じたことにより、予想を上回る費用が発生しました。

また、市場におけるクラウドシフトの加速によって、従来のライセンス販売から利用料モデルへのニーズが高まり、売上高や利益に影響が出ました。

以上の結果、売上高は146億89百万円(前期比0.6%減)、営業利益は9億4百万円(同14.7%減)、経常利益は9億11百

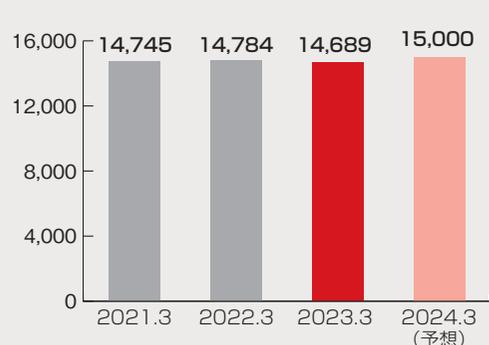
万円(同17.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億87百万円(同25.9%減)となりました。

### Q 2024年3月期の取り組みと業績の予想について お教えてください。

**A** 成長事業であるソリューションサービス事業では、市場動向として、中小企業のみならず、中堅・大手企業のパブリッククラウドに対応する次世代モデルへの移行が、DXを含めて、2026年以降一気に進展すると想定しています。こうした需要の変化に追従するべく、サービスモ

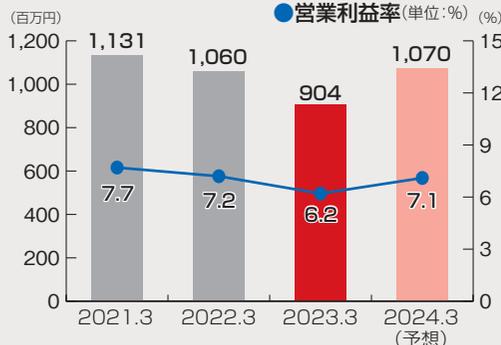
売上高

(単位：百万円)



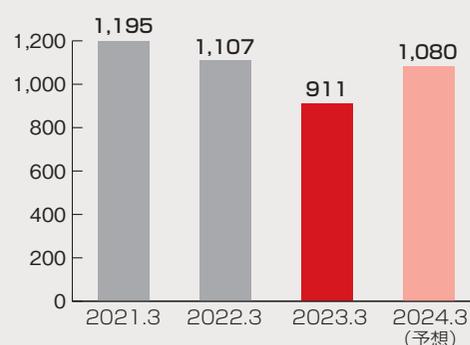
営業利益

(単位：百万円)



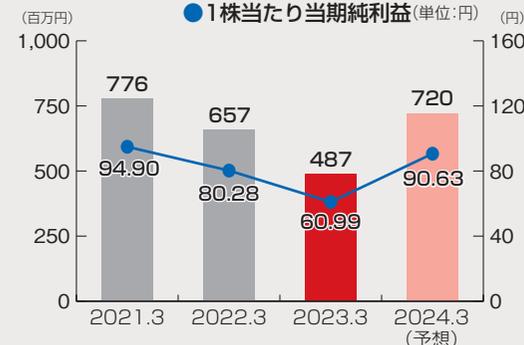
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



※第49期の期初より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しています。

デルの刷新を進めてまいります。クラウドに対応した効率的なサービスの提供により、高効率なビジネスモデルへの転換を加速させてまいります。

安定事業である受託開発事業、システム運用・サービス事業、サポートサービス事業については各セグメントとも2023年3月期は増収増益となり堅調でした。2024年3月期も引き続き好調に推移すると見ています。受託開発事業では、プロジェクトマネジメントの強化とともに、業務、業種特化、差別化をさらに推進してまいります。システム運用・サービス事業では、顧客の企業合併が進む中、これまで培ってきたノウハウやスキルを活かして、新規顧客開拓にも力を入れてまいります。サポートサービス事業では、スキルアップによる上流フェーズへの対応力強化を図ってまいります。

なお、2023年3月期の減益要因の一つとなった高原価プロジェクトについては2023年3月に本稼働が始まり、現在は保守フェーズに移行しています。

これらの結果、2024年3月期の業績見通しに関しましては、売上高150億円(前期比2.1%増)、営業利益10億70百万円(同18.3%増)、経常利益10億80百万円(同18.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益7億20百万円(同47.8%増)を予想しています。

## Q 今後の重点施策についてお聞かせください。

A 今後の事業展開において、事業環境の変化をふまえ、成長戦略、営業戦略、組織戦略の3つの重点施策を掲げました。1つ目の成長戦略では、当社の大株主であるアマノ株式会社とのHRテック連携による事業拡大を図ってまいります。新たな体制を構築していきながら、主力事業であるHRテックでシナジーを高め、将来性、収益性の高い事業へのリソースシフト、クラウドサービスの創出、新規事業への取り組みを強化してまいります。

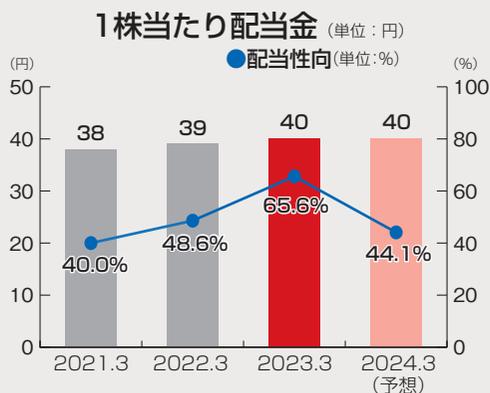
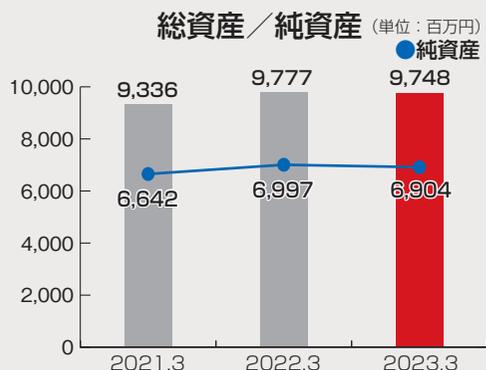
2つ目の営業戦略では、人材不足に対応する受注体制の確保や、グループ及びオフショア等外部連携の強化を進めます。また、商談の良質化を図るため、プロジェクトマネジメントのみならず、受注リスクマネジメントを特に強化していきたいと思っています。さらに、顧客接点強化のため、カスタマーエクスペリエンスの向上に努めながら、お客様との信頼関係をより深めてまいります。

3つ目の組織戦略では、人的資本経営の観点から、人への投資を一層強化してまいります。社員の働きやすさ、働きがいの向上、リスクリングを含めた育成カリキュラムの強化、エンゲージメントの醸成等によって、生産性、創造力の向上を目指してまいります。

## Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A クレオは、2024年3月に創立50周年を迎えます。ビジョンに掲げる100年企業を目指し、2024年3月期は1年をかけて次の成長ステージに向けた足場固めの年とします。特に成長事業と位置づけているソリューションサービス事業においては、市場ニーズの変化をしっかりとキャッチアップしながら、株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、クレオの未来を想像いただけるような方向性を打ち出してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

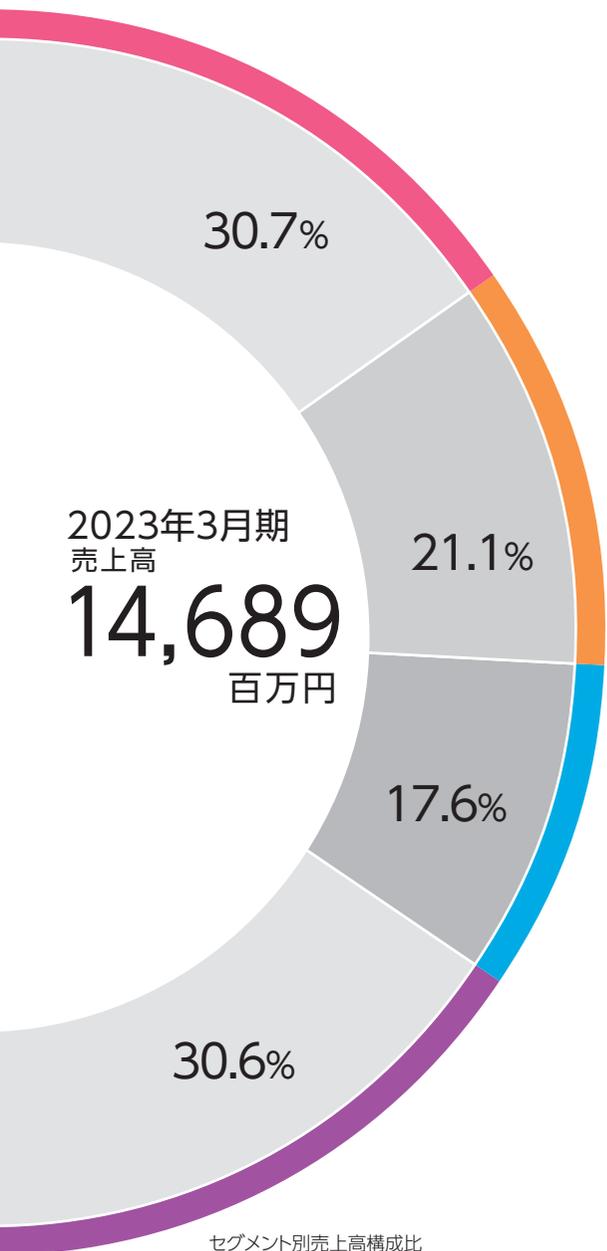


## 利益配分に関する基本方針と当期・次期の配当について

当社は株主の皆様への剰余金処分を経営の重要な政策の一つとして考えており、配当に関しては長期的な視点に立ち、連結経営成績に応じた安定的な利益の配分を基本方針としております。また、株主の皆様への長期的な利益還元をさらに充実させるため、連結配当性向40%を目標としております。

これらの方針に基づき、2023年3月期の配当金につきましては、1株当たり40円(前期比1円増配)といたしました。配当性向については65.6%となりました。

また、2024年3月期の配当金につきましては、1株当たり40円、配当性向44.1%を予想しております。



### ソリューションサービス事業

売上高 **4,506** 百万円 営業利益 **510** 百万円

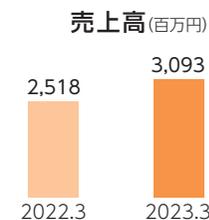
戦略的プロジェクトで発生した高原価状態の影響や、製品サービスでクラウドシフトが加速したことなどにより、売上高は前期比で8億円減少、営業利益は前期比で2億70百万円減少しました。



### 受託開発事業

売上高 **3,093** 百万円 営業利益 **567** 百万円

主要顧客向け案件の堅調な推移などにより、売上高は前期比で5億74百万円増加、営業利益は前期比で1億円増加しました。



### システム運用・サービス事業

売上高 **2,590** 百万円 営業利益 **375** 百万円

主要顧客からの受注拡大などにより、売上高は前期比で1億10百万円増加しました。営業利益は前期比で50百万円増加しました。



### サポートサービス事業

売上高 **4,499** 百万円 営業利益 **391** 百万円

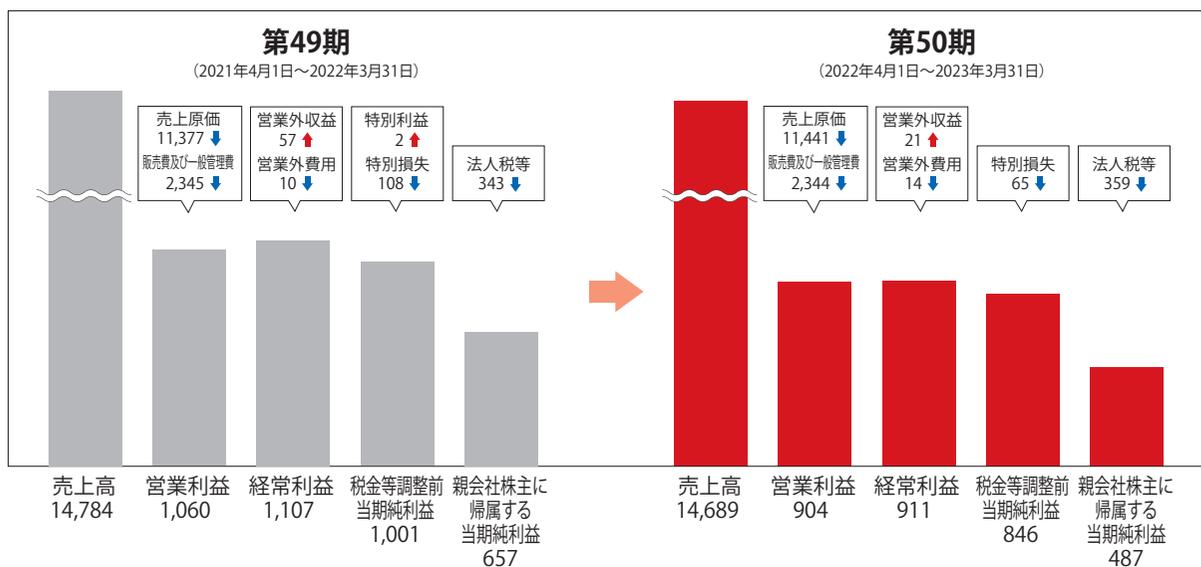
グループ会社連携による受注拡大などにより、売上高は前期比で20百万円増加、コスト削減など費用見直しを行い、営業利益は前期比で40百万円増加しました。



# 財務データ

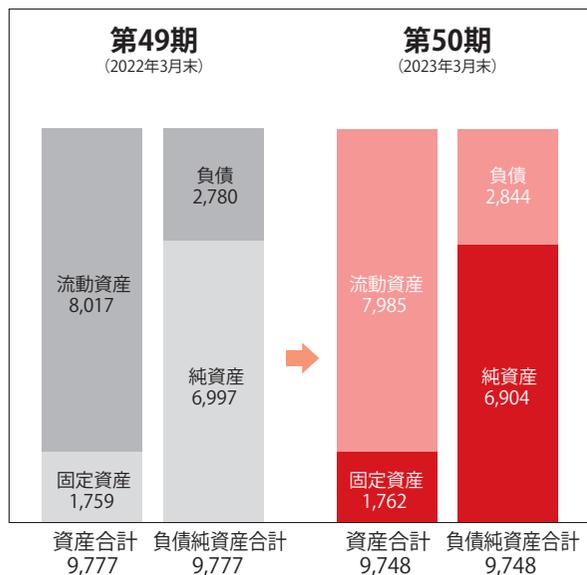
## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



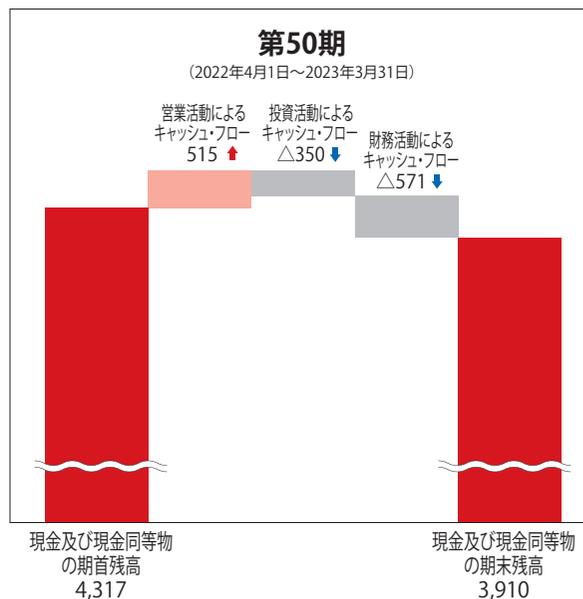
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



	第49期	第50期
<b>経営成績</b> (単位:百万円)		
売上高	14,784	14,689
売上総利益	3,406	3,248
営業利益	1,060	904
経常利益	1,107	911
税金等調整前当期純利益	1,001	846
親会社株主に 帰属する 当期純利益	657	487
<b>財政状態</b> (単位:百万円)		
資産合計	9,777	9,748
流動資産	8,017	7,985
固定資産	1,759	1,762
負債合計	2,780	2,844
流動負債	2,575	2,630
固定負債	204	213
純資産合計	6,997	6,904
<b>キャッシュ・フロー</b> (単位:百万円)		
営業活動による キャッシュ・フロー	1,110	515
投資活動による キャッシュ・フロー	△389	△350
財務活動による キャッシュ・フロー	△330	△571
現金及び現金同等物 の期末残高	4,317	3,910
<b>1株当たり情報</b> (単位:円)		
1株当たり当期純利益	80.28	60.99
1株当たり純資産	854.65	869.04
1株当たり配当金	39.00	40.00
<b>財務指標</b>		
自己資本当期純利益率 (ROE)	9.6%	7.0%
総資産経常利益率 (ROA)	11.6%	9.3%
自己資本比率	71.6%	70.8%

## TOPICS

# 1

### 購買プロセス管理クラウドソリューション「トラミル」を販売開始

トラミルは、企業の購買・調達業務を円滑に行うための豊富な機能を提供し、間接資材購買を中心とした取引プロセスの標準化・可視化・ペーパーレス化を実現するクラウドサービスです。

新たなデジタル技術とこれまでに培った業務改善のノウハウを組み合わせることで、様々なサービス・システム・ソリューションを通して、これからもお客様のDX推進を支援してまいります。



## TOPICS

# 2

### 日興アイ・アール「2022年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」に選出

2022年12月、日興アイ・アール株式会社が実施した「2022年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」において「スタンダード市場部門 優良サイト」に選出されました。

このホームページ充実度ランキングは「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定された客観的な評価項目に基づき、全上場企業に対して調査が行われました。

今後もステークホルダーの皆様に対する情報開示を充実させてまいります。



## TOPICS

# 3

### 経済産業省「健康経営優良法人 2023」に認定

2023年3月、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に4年連続で認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人の中で特に優れた健康経営を実践している法人を健康経営のリーディングカンパニーとして評価・認定する制度です。

今後も継続的な健康の保持・増進に取り組み、社員やその家族、お客様の幸せを最大化し、豊かな未来社会の実現に貢献してまいります。



# 会社概要／株式の状況

## ◆会社概要

商号	株式会社クレオ	
所在地	東京都品川区東品川四丁目10番27号	
役員	(2023年6月22日現在)	
	代表取締役社長	柿崎 淳一
	代表取締役副社長	二宮 桐人
	取締役	佐々木 尚也
	社外取締役	井原 邦弘
	社外取締役	春木 謙一
	社外取締役	鈴木 良之
	常勤監査役	雨田 高志
	社外監査役	宮澤 求 (公認会計士)
	社外監査役	渡辺 伸行 (弁護士)
設立	1974年3月22日	
資本金	3,149,650千円	
連結売上高	14,689百万円 ※2023年3月期実績	
従業員数	連結	1,218人
	単体	498人

## ◆株式の状況 (2023年3月31日現在)

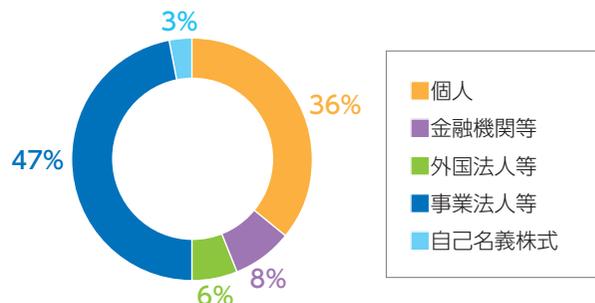
発行済株式総数 8,585,688株  
株主数 5,851名

### 大株主 (2023年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アマノ株式会社	2,645	31.7
Zホールディングス株式会社	1,100	13.2
株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)	391	4.7
クレオ従業員持株会	217	2.6
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	165	2.0
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	140	1.7
椎名 敬一	133	1.6
和田 正次	128	1.5
光通信株式会社	122	1.5
明治安田生命保険相互会社	100	1.2

(注)1. 当社は自己株式を250千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 当社は株式給付信託を導入しており、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が391千株を所有しておりますが、自己株式には含めておりません。  
3. 持株比率は自己株式を控除して計算(小数点第二位を四捨五入)しております。

### 所有者別株主分布状況



## ◆WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報の掲載はもちろんのこと、メールによる「IRメール配信サービス」も行っております。是非一度ご覧ください。



<https://www.creo.co.jp/ir/>



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 スタANDARD市場
公告の方法	電子公告の方法により行う。 公告掲載URL <a href="https://www.creo.co.jp">https://www.creo.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

## 理念・行動規範

### 企業理念

私たちは、「人間の想像力」と「世界中のテクノロジー」を結合することで、「感動！」を生む変革を起こし、豊かな未来社会の実現を目指します。

### 行動指針

～幸せな企業人であり続けるための7つの行動～

1. 感謝の気持ちを忘れない
2. 信頼すること、されることを重んじる
3. いつも誠実に行動する
4. 心も技術も磨き続ける
5. より健康であり続ける
6. 恐れずに何ごとにも挑戦する
7. 仕事にも社会にも人生にも成果を出す



このロゴには、3つの「想い」が込められています。

### 1つは「感動」を生むこと

クレオは「感動」を提供する企業です。常に周囲の期待を超え、驚きを提供していく姿をロゴに託しました。ロゴはエクスクラメーションマーク(感嘆符)をかたどりました。球形はクレオ自身を表します。共に語り、共に考え、共に成長するという共創の精神を象徴しています。

### 1つは「創造」し続けること

クレオの歴史は創造の歴史です。ロゴは、知識や技術、関係の新たな結びつき(新・結合=イノベーション)を発見、創造し続ける決意を象徴しています。クレオ自身を示すこの球体から、次代を担う人財、製品、サービスが次々と生まれ、大きく育っていく姿を表しています。100年企業を目指し、時代時代にあわせ、変化し続ける姿です。

### 1つは「永遠(とわ)」に寄り添うこと

クレオはいつもステークホルダーの皆様へ寄り添う企業でありたいという願いを込めました。ロゴは、クレオ自身である球体が、お客様や社会、株主の皆様へ寄り添っているというイメージを表現しています。

社会に貢献できる価値を提供し続ける企業であるという私たちの願いを象徴しました。